

ごあいさつ

平素より、私ども南都銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび皆さまに、平成21年9月期の業績や当行の取組みなどをお伝えするため、「ミニディスクロージャー誌／第122期営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご一読いただき、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、内外経済につきましては、ようやく最近になってやや持ち直す動きが見られるとともに、依然厳しさはあるものの、金融環境にも改善の動きが見られるようになりました。奈良県を中心とする地元経済につきましても、平成21年1～3月期をボトムとしての企業の景気判断に改善基調が続いています。

こうした環境のもと当行の業績は、適切な信用リスク管理による与信関連費用の低下や有価証券関係損益の改善により、7期ぶりの当期純損失を計上した前期から一転、順調に回復への道をたどっています。

当行は、営業基盤の拡充による安定的な収益の確保を図るため、引き続き中期経営計画「モア・バリュー“NANTO”」の諸施策を積極的に推進してまいりますので、今後ともより一層のお引き立て、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年(2010年)1月から開催される「平城遷都1300年祭」も、いよいよ目前に迫りました。奈良県全域が舞台となるこの事業を、全行をあげて積極的に応援していきます。

当行は「地域とともに成長する銀行」として、「フェイス・トゥ・フェイスの応対」や「お客さまのニーズに沿ったアドバイスや提案」によるお客さま満足の上向をはじめ、コンプライアンス(法令等の遵守)やお客さま保護の徹底など、今後とも、さまざまな分野において社会的責任を果たしてまいります。

平成21年12月

取締役頭取 **植野康夫**

